

① バスターミナル等での運航情報提供

- 【目的】 他交通機関への振り替えが必要なビジネス客等に、欠航等の情報をより早く伝えることで利用者の利便性向上を図る。
- 【目標】 より早く正確な運航情報の提供（HAC便利用者がターゲット）
- 【内容】 釧路駅バスターミナルにモニター設置。発着情報をリアルタイムで提供
- 【数量等】 モニター1台
- 【背景】 釧路空港は全国有数の霧の多い空港であり、ILS CATⅢbといった最高水準の着陸システムが導入されているが、プロペラ機では運用することができず、霧での欠航可能性が非常に高い。
- ・HAC釧路－丘珠線ではビジネスでの利用目的が62.9%となっており、時間的な制約が伴う利用者が大半を占めている状況である。
 - ・宿泊施設等の集積地である釧路駅から釧路空港への公共交通機関は空港連絡バスであり、その所要時間は約45分であり、飛行機以外の代替交通機関としてJRがあるが、ダイヤの関係から、飛行機が欠航となり空港で振替を判断した場合、朝の便に乗り午後から用務がある人や夜の便に乗り次の日の朝に用務がある場合には、JRへの振替はできない状況である。
 - ・このことは、観光目的であっても時間的制約はビジネスより少ないが、同じであり、欠航に対するリスクから最初から飛行機の予約を避けて、他の交通機関にすることにもなりかねないものである。
 - ・これらのことから、釧路駅周辺での正確な飛行機の運航情報を提供することにより、安心して飛行機の予約をしてもらうような手法として設置するものである。また、ビジネス客の割合が高い路線のため、より速く正確な情報提供が望まれている。

平成26年度の取組

- 【計画・立案】 9月下旬～
- ・釧路市、釧路空港ビル、釧路バス、阿寒バス、HAC、北海道、札幌市等関係機関等協議、調整開始
 - ・実施の具体的な内容、期間、効果測定手法等の検討
- 【準備・制作】
- ・12月20日 モニター設置
- 【実行】
- ・12月20日～3月27日 モニターでの運航情報提供実施
 - ・2月9日～19日 モニター前でのアンケート調査実施
- ※なお、札幌圏については、空港以外に航空機の利用者が集積する場が見当たらず、適当な設置場所が無かったことから、設置しないこととした。



平成27年度の取組

- ・前年度の取組を継続
- ・9月12、13日に釧路駅前バスターミナル利用者へアンケート調査実施



平成28年度の取組

- ・前年度の取組を継続
- ・観光・商業施設である釧路フィッシャーマンズワーフMOOに7月29日に増設。

